

令和5年度 キャリア教育全体計画

田村市立船引南中学校

社会的背景	教育目標	生徒の実態
①少子化等、社会環境の急速な変化 ②地域社会における人間関係の希薄 ③自己効力感の希薄による進路未決定 ④社会参加意識の希薄	【夢・愛・自立】 Dreams come true! 夢に向かって真剣に努力すれば、必ず夢は実現する 生徒を中心に据えて生徒の夢が育つ楽しい学校	・学校行事や部活動に積極的に取り組む。 ・自分の考えや気持ちを相手に伝えようとする力が不足している。 ・自主的に行動する意識が希薄である。

キャリア教育の目標
生徒一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度の育成を通してキャリア発達を促す。
・自分の特性・能力についてよく理解し、主体的に行動することができる。 ・集団の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割の関係を見だし、自分らしい生き方を考える。 ・一人一人の進路を保障するために、学力の向上を図る。

育成すべき能力や態度（基礎的・汎用的能力）			
人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力。	自分が「できること」「意義を感じる」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力。	仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力。	「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力。

指導の基本方針および各学年の目標と主な活動等
<指導の基本方針> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自分で決める力を育む。 ・生徒たちの生きる意欲を引き出す。 ・自分で一歩を踏み出す生徒たちを評価し、応援する。 ・生徒を頼りにする、生徒に任せる、生徒を見守る、生徒をほめる、生徒を励ます。

第1学年	第2学年	第3学年
○学級集団の中で、自分が果たす役割について考え、対話と協働によってよりよい集団生活を実現しようとする。 ○福祉体験を通して、自分と社会との関わりについて考え、それを日常生活に生かす。 ○自己の長所や個性に気づき、将来について考えることができる。 ○将来について夢や希望を持ち、よりよい自分になるための努力ができる。	○学級集団や生徒会活動等の学校生活の中で、自分が果たす役割について考え、対話と協働によってよりよい集団生活を実現しようとする。 ○進路に関する情報を正しく理解し、適性を見だし、長所を伸ばしていくことができる。 ○職場体験等の活動を通し、自分の特性と結びつけて将来の職業、進路先を考えることができる。 ○将来の目標に向かって、進路の計画を立てることができる。	○学級集団や生徒会活動等の学校生活の中で、自分が果たす役割について考え、リーダーシップを発揮し、対話と協働によってよりよい集団生活を実現しようとする。 ○自分の特性と、進路に関する情報を正しく理解し、自分の納得のいく進路を選択することができる。 ○自ら選択した進路のために最大限の努力ができる。 ○自らの生き方についてのビジョンが描ける。
主な活動等	主な活動等	主な活動等
・学級組織と自分の役割について考える ・生徒会、学級会の活動について考える ・働くことについて考える ・高校説明会 ・道徳 ・進路計画を立てる ・文化祭 ・キャリア・パスポートの活用	・高校説明会 ・職業調べ活動 ・職場体験活動(1日) ・人との関わり方を学ぼう ・将来の夢・生き方を考える ・キャリア・パスポートの活用	・高校説明会 ・高校体験入学 ・教育面談 ・進路の選択 ・自己を見つめる ・キャリア・パスポートの活用

各教科	道徳教育・道徳科	特別活動	総合的な学習の時間
①授業スタンダードをもとに、生徒の主体的、対話的で深い学びの実現を図る。 ②学び方や考え方を身に付け、問題解決的や探究的学習を実施するとともに、家庭学習の充実を図る。 ③自己の能力、適性、興味についての理解を進める。 ④生徒が自分の意思で問題を選択し、取り組めるよう、多様な選択肢をできる限り準備する。	①人間尊重の精神を培い、自立し、健全な自尊感情を持ち、社会の一員としてその発展に貢献する基盤となる道徳性を養う。 ②学校・家庭・地域社会における生活の中で道徳的実践力を高め、道徳的価値に基づいた人間の生き方や、集団の一員としての在り方について考えさせる。 ③自分の考えを基に表現する機会を通して、多様な意見に触れることで考えを深め、自らの成長を実感させる。	①学級における生活上の諸問題を取り上げ、生徒一人一人や学級集団としての問題解決能力を高める。 ②生徒会や学級組織の仕事の分担を通して集団への帰属意識や責任感を高め、集団生活の向上を図る。 ③自他の理解と尊重の学習を通して、適切なコミュニケーションの取り方と良好な人間関係の確立を図る。	①自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。 ②学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。 ③学校における全教育活動で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、学習や生活に生かし、総合的に働くようにする。